よくある疑問・質問にお答えします

Q1 電気自動車(EV)のバッテリーも残しながら、家庭への給電をすることはできますか？

A.EVパワー・ステーションは、バッテリーの残量率を設定することができます。（初期設定は30%ですが、下限値10%まで設定できます。）

Q2 停電時はどのように作動しますか？

A.停電時の給電は、停電の原因や周囲の安全を確認し、手動による切換え操作をしてください。充電中に停電が発生した場合は、一旦充電を停止しスタンバイ状態になります。スタンバイ状態から給電を開始する場合も、手動での操作が必要です。

Q3 接続された機器の消費電力の合計が6kWを超えるとどのようになりますか？※

A.EVからの給電を停止し、電力会社からの電気に切換わります。停電時は安全機構が作動し、停止します。[片相で30A（高機能モデルの場合は片相40A（2相合計60A））を超えることが予想される場合にも、全体が電力会社からの電気に切換わりますのでご注意ください。]

Q4 使用している家電製品の消費電力の合計がEVパワー・ステーションの給電能力を超えた場合、どのようになりますか？※

A.EVからの給電を停止し、電力会社からの電気に切換わります。なお、使用電力がEVパワー・ステーションの給電能力内に戻った場合は、約10分後に自動的にEVからの給電に切換わります。

Q5 使用できない機器はありますか？

A.消費電力が大きい機器（例：家庭用エレベータ、井戸水ポンプ、オフィス向け複合機）等は、ご使用できないことがあります。その場合は回路分岐をしていただく必要があります。PLC（電力線通信）ネットワークアダプタ、PLCドアホン等、電力線を通信回線として利用する機器は使用できません。

Q6 給電の切換え時に使用している電気機器に影響はありますか？※

A.照明器具やテレビなどが一瞬消灯したり、ドライヤーや電子レンジの出力が一時的に低下する場合がありますが、異常ではありません。その際、一部の家電製品において電源が切れる場合（瞬時停電）もあります。録画機器やパソコンなどの記録機器の使用においてはご注意ください。瞬時停電で影響の出る家電製品は、バックアップ電源（UPS）などの利用をお奨めします。

Q7 太陽光発電で発電した電力も蓄電できますか？

A.蓄電いただけます。但し、充電に使える電力量は太陽光発電能力によって変わります。また停電時は、太陽光発電からの出力が非常時コンセントに限定されるため、EVパワー・ステーションからEVへの充電はできません。

Q8 既に購入、使用している日産リーフに対して、EVパワー・ステーションは使えますか？

A.EVパワー・ステーションをご使用いただくには、日産リーフの車両側のプログラムの変更が必要となる場合があります。詳しくは日産の販売店にご相談ください。

Q9 設置に際し、どのような工事が必要ですか。

A.EVパワー・ステーション「本体」の屋外据付けと、「中継ボックス★1」の屋内壁面への設置と、専用配線工事が必要です。 ★1コンセントモデルは不要です。

Q10 屋外設置はできますか？

A.本体は屋外設置仕様ですが、設置場所については、特に粉塵が多い場所、直射日光が当たり高温になる場所等では、製品性能や耐久性への影響などを考慮する必要があります。

Q11 雨や雪が降っていても使えますか？

A.雨や雪の中でも充電できます。ただし、次のことにご注意ください。感電や漏電を防止するため、濡れた手でコネクタに触れたり、抜き挿しすることはしないでください。コネクタを濡らさないでください。万が一、コネクタが濡れてしまったときは、布などで水分を拭きとってください。また暴風雨や雷が予測されるなかでの充電はしないでください。

Q12 事務所や店舗など消費電力の多い場所にも設置できますか？※

A.設置は可能ですが、EVパワー・ステーションの給電能力を超える電力消費が予想される場合は、分電盤増設工事等が必要です。

Q13 設置に際し、電力会社との契約電力を変更する必要はありますか？

A.ご使用状況によっては、契約の変更が必要になる場合があります。詳しくは電力会社にご相談ください。

Q14 電力契約は何Aが必要ですか？

A.EVパワー・ステーションの倍速充電機能を十分お使いいただくためには、EVパワー・ステーション用に200V30Aが必要になります。家側のブレーカーが60Aを超える場合は回路分岐が必要です。コンセントモデルは200V30Aが必須となります。

Q15 設置後の定期メンテナンスは必要ですか？

A.お客様で簡単なフィルタ交換（1年に1度）をお願いします。フィルタ5枚と延長補償をセットにした安心メンテナンスパックもご用意しております。

Q16 保証期間はどのくらいですか？

A.無料補償期間は1年ですが、有料で5年間の延長補償をご用意しております。

※Q3、Q4、Q6、Q12は標準モデル、高機能モデルの機能であり、コンセントモデルは対象外です。
※標準モデル（型番：ZHTP1580R）、高機能モデル（型番：ZHTP1900R）、コンセントモデル（型番：ZHTP1700R）の詳細についてはカタログP7、8、10をご参照ください。

⚠安全に関するご注意	● ご使用の前に、「取扱説明書」をよくお読みください。ご不明な点は予めお買い上げの販売店または工事会社にご相談のうえ、正しくご使用ください。 ● 人命に直接かかわる医療機器などへの接続は絶対にしないでください。 ● 植込み型心臓ペースメーカー及び植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、充電中、給電中の機器本体部からの電磁波がペースメーカー、ICDの作動に一時的な影響を与える場合があります。詳細は一般社団法人 日本不整脈デバイス工業会作成の患者様向けパンフレットをご確認ください。 ● 本機を本来の充放電以外の用途に使用することは危険ですので行わないでください。

ご使用にあたって：
●このカタログに記載の商品の保証期間は１年間です。ここでいう保証は、当社製品単体の保証に限るもので、当社製品の故障や瑕疵から誘発される損害については除かせていただきます。

ご注意：
●吸気口や排気口を塞がないでください。内部の温度が上昇し危険です。 ●ブレーカーが落ちた場合は、原因を取り除いてから電源を入れ直してください。 ●災害によって停電した場合は、安全を確認してから本機を稼動させてください。 ●可燃ガスや引火物を製品の近くで使用しないでください。発煙発火の原因になることがあります。 ●濡れた手でコネクタに触れたり、抜き挿しすることはしないでください。感電の危険性があります。 ●コネクタがロック中は、コネクタをこじるなどして無理に抜かないでください。高電圧の印加されている箇所があり危険です。 ●本体、コネクタ、充放電ケーブル等は絶対に修理・分解・改造をしないでください。高電圧の印加されている箇所があり危険です。 ●充放電ケーブルを車で踏んだり、足を引っ掛けるなどして強い力が加わると、本体、コネクタおよび充放電ケーブルが破損する可能性があります。 ●本体に強い衝撃を与えたり、本体の上に乗ったり、物を置いたり、ひきずったりしないでください。本体の故障につながる可能性があります。 ●コネクタや充放電ケーブルに損傷、腐食、サビがある場合、または充放電の接続にガタや緩みがある場合は、充放電を行わないでください。漏電、感電、ショート、火災の原因になります。 ●雷が鳴り出したら、車両や本体に触れないでください。落雷による感電の恐れがあります。 ●万一、異音や異臭がしたり、エラーが表示された場合は、速やかに使用を中止し、サービス会社にご相談ください。 ●EVパワー・ステーションの給電能力を超え、EVからの給電が電力会社からの電気に切換わる時や、電力会社からの電気がEVからの給電に切換わる時に、照明器具やテレビなどが一瞬消灯したり、ドライヤーや電子レンジの出力が一時的に低下する場合がありますが、異常ではありません。その際、一部の家電製品において電源が切れる場合（瞬時停電）もあります。録画機器やパソコンなどの記録機器の使用においてはご注意ください。瞬時停電で影響の出る家電製品は、バックアップ電源（UPS）などの利用をお奨めします。 ●EVパワー・ステーションのご使用に関わらず、使用年数を経た家電製品は、経年劣化で、電源の変動（主電源の入・切、モータ負荷による過電圧等）により故障に至る可能性があります。 ●停電時にEVパワー・ステーションから給電される場合において、EVパワー・ステーションの給電能力を超えると停電が発生します。そのため、録画機器やパソコンなど、途中で電源が切れては困る電気製品の使用においてはご注意ください。[片相で30A（高機能モデルの場合は片相40A（2相合計60A））を超えることが予想される場合には、全体が電力会社からの電気に切換わりますので、ご注意ください。]瞬時停電で影響の出る家電製品は、バックアップ電源（UPS）などの利用をお奨めします。 ●掃除機、エアコン、遠赤外線ヒータ、IH調理器等は、起動時に大きな電流が流れる場合があるため、これらの機器を使用する際に、電気機器の動作が一瞬不安定になったり、規定の電流値を超える場合には、EVからの給電が電力会社からの電気に切換わる場合があります。家庭用エレベータ、井戸水ポンプ、オフィス向け複合機等はご使用できないことがあります。その場合は回路分岐をしていただく必要があります。 ●商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。 ●このカタログの記載内容は2013年10月21日現在のものです。

製造元	ニチコン株式会社 京都市中京区烏丸通御池上る〒604-0845 http://www.nichicon.co.jp/	製品に関するお問い合わせ	0120-215-023 （お客様相談室）（フリーダイヤル） 受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時（土・日・祝日・休業日は除く）

CAT.5102E　B.2013. K.150C

nichicon

EVパワー・ステーション
2013.11

補助金について

EVパワー・ステーションは、
次世代自動車充電インフラ整備促進事業による
国の補助金制度が適用されます

補助金対象機種

一般社団法人 次世代自動車振興センター

平成24年度
省エネ大賞
「LEAF to Home」電力供給システム
（製品・ビジネスモデル部門）
主催：一般財団法人省エネルギーセンター

CEATEC AWARD 2012
豊かで夢のあるスマートな暮らし社会を創る
「プロダクツ&サービス部門」
準グランプリ受賞

EV パワー・ステーション

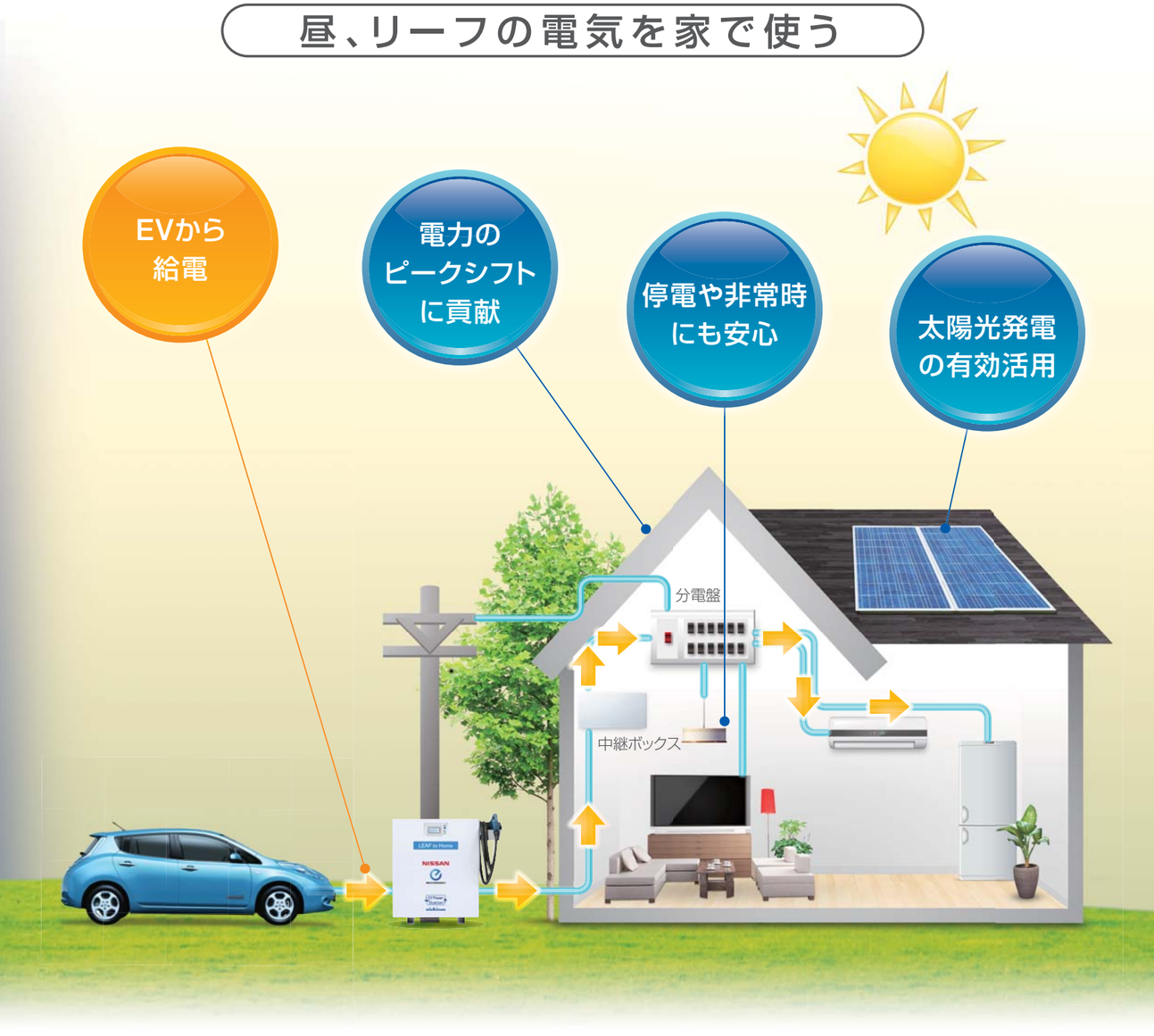
リーフは暮らしの電源へ。

かしこく使えば暮らしが変わる。

「街中を走る」から「家庭で使う」へ。電気自動車（EV）の新しい活用提案。

夜、リーフに電気を蓄えて

昼、リーフの電気を家で使う



電気自動車（EV）と家庭をつなぐ、世界初のV2H（Vehicle to Home）システム

V2Hシステムとは、EV（電気自動車）の大容量バッテリーから電力を取り出し、分電盤を通じて家庭の電力として使用できる仕組みをいいます。
割安な夜間電力をEVに充電し、昼間はEVのバッテリーに蓄えた電力を家庭へ給電することで、家計の節約につながります。
また夜間電力の活用は、電力需要のピークシフトの役割を果たし、昼間の節電にも貢献します。

※消費電力が大きい機器（例：家庭用エレベータ、井戸水ポンプ、オフィス向け複合機）等は、ご使用できないことがあります。その場合は回路分岐をしていただく必要があります。
※EVパワー・ステーションから家庭への給電は、通常の電力会社からの電気使用に比べて、給電能力に制限があります。電力会社からの電気を使用している時は、家電製品の消費電力が契約電力を上回るとブレーカーが落ちて停電しますが、EVパワー・ステーションから家庭への給電時には、消費電力がEVパワー・ステーションの給電能力を超えると、自動的にEVからの給電を停止し、電力会社からの電気に切換わります。EVパワー・ステーションの給電能力は合計60A（30A以下×2相）ありますが、片相（30A）*1でも給電能力を超えると、電力会社からの電気に切換わります。
※分電盤を通じた家庭への給電は、標準モデル、高機能モデルの機能であり、コンセントモデルは対象外です。
※LEAF（リーフ）は日産自動車株式会社の登録商標です。日産自動車株式会社のご了承を得て掲載しております。
★1高機能モデルの場合、片相40A（2相合計60A）まで対応しています。

EVパワー・ステーションのある暮らし。

「街中を走る」から「家庭で使う」へ。電気自動車（EV）の新しい活用提案。

太陽光発電の有効活用（住宅用太陽光発電を設置のお客様の場合）

EVパワー・ステーションを設置されますと、ダブル発電扱いとなり、太陽光発電の売電価格が下りますが、昼間に日産リーフの電力を活用いただくことで、トータルの売電量が増加するため、売電収入が増える場合もあります。夜間に日産リーフの大容量バッテリーに蓄えた電力を昼間家庭に給電することで、住宅用太陽光発電で発電した、より多くの電力を電力会社に買い取ってもらうことも期待できます。★1

※既に太陽光発電を設置されているご自宅へEVパワー・ステーションを併設する場合は、売電価格の見直しを含めた認定手続きが必要です。詳しくは、経済産業省資源エネルギー庁のホームページをご覧ください。
http://www.enecho.meti.go.jp/saiene/kaitori/index.html　※太陽光発電を接続する場合は、中継ボックスの系統側に接続してください。
★1 お客様の使い方や電気契約プランにより、経済効果が出ない場合もあります。

A. 昼間自宅にリーフがある家庭

7時~13時 家庭へ給電

- **無理なく電気代を節約**
  割安な夜間電力を昼間に使って電気代を節約。
- **タイマー機能で自動給電**
  電気料金が高くなる時間に自動的に給電開始。
- **太陽光発電の有効利用**
  日産リーフから給電中は太陽光発電を売電。
  （詳細は、P4右上をご覧ください。）

13時~15時 買い物に利用

- **走行中の排出ガスゼロで環境に優しい。**
  日産リーフはガソリンを使わないので走行中の排出ガスはゼロ。
- **携帯電話のように自宅で充電。**
  もうガソリンスタンドに行く必要はありません。
- **驚くほどの静粛性**
  高級車のような静かな車内で快適ドライブ。

15時~23時 家庭へ給電

- **電気代を節約**
  割安な夜間電力を使って電気代を節約。
- **ピーク時もEVからの給電**
  高機能モデルは電気を多く使うピーク時に力を発揮します。

23時~7時 リーフに充電

- **タイマー機能で自動充電**
  電気代が安くなる時間から自動的に充電開始。
- **最短約4時間で満タン。**
  短時間で充電できるので急な外出時でも安心。
- **インテリジェントな充電制御**
  契約電力を超えないように充電をコントロールし、ブレーカー落ちを回避。

7時 8時 9時 10時 11時 12時 13時 14時 15時 16時 17時 18時 19時 20時 21時 22時 23時 24時

B. 通勤にリーフを使っている家庭

7時~18時 通勤に利用

- **走行中の排出ガスゼロで環境に優しい。**
  日産リーフはガソリンを使わないので走行中の排出ガスはゼロ。
- **満タン1回約300円★1**
  ガソリンに比べ安価な電気で走るので非常に経済的。
- **ジェット機のような加速感**
  モーターで走る日産リーフはスポーツカーも顔負けの加速感。

★1 リーフに満充電した場合の電気代が1回約300円。航続可能距離はJC08モードで228kmです。
東京電力「おトクなナイト10」で契約した場合、
日産リーフのバッテリー容量24kWh×夜間の電気代12.06円=289円（2013年10月時点）

18時~23時 家庭へ給電

- **電気代を節約**
  割安な夜間電力を使って電気代を節約。
- **ピーク時もEVからの給電**
  高機能モデルは電気を多く使うピーク時に力を発揮します。

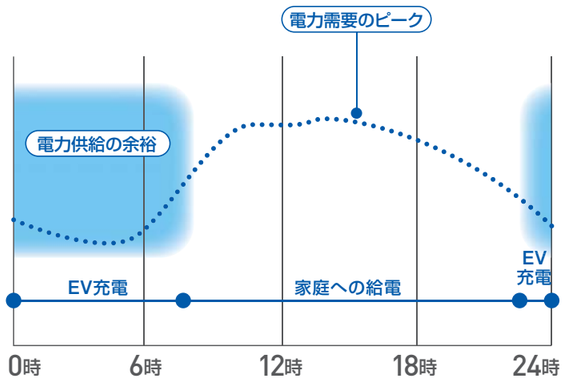
万が一の停電時にも安心

- **もしもの停電時でも日産リーフから給電**
  日産リーフを自宅のバックアップ電源として活用。

※コンセントモデルは分電盤を通じた家庭への給電はできません。

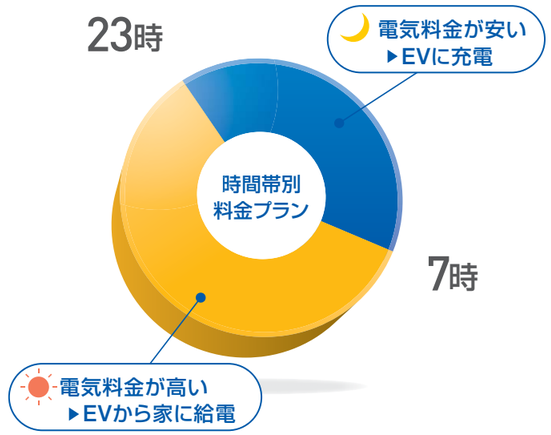
電力のピークシフトに貢献

電力のピークシフトに貢献



※経産省HPを基にイメージとして作成。

夜、蓄えて、昼、家で使う



※各プランについては、電力会社にお問い合わせください。

夜間電力を上手に活用

昼間使用する電力(12kWh)を日産リーフから給電した場合 → 1日で207円の節約

平日毎日使用(年間248日)すると → 1年で51,282円の節約

6年間／51,282円×6年で **30.8万円節約**

<算出条件>
東京電力のおトクなナイト10を契約した場合(昼間33.6円:第2段階料金、夜間12.06円) 2013年10月現在
※上記試算は待機電力などを含めたシステム全体の変換効率を80%として算出しています。
※これは試算であり、経済効果を保証するものではありません。

※日産リーフが平日昼夜、本製品と接続されていると想定しています。
※金額はシミュレーション値です。お客様の電気利用に応じて異なります。

操作について

操作方法も簡単・スムーズ

EVパワー・ステーションの操作は本体に設置した液晶タッチパネルで行います。また、充電開始、充電停止のボタンも配置していますので、初めての方も簡単に操作できます。

タイマー機能★1、充電量、家庭への給電量などの設定も可能です

充電開始、停止時刻の設定 (タイマー予約により電気料金が安い夜間に忘れず充電できます)	**充電率の設定** (満充電と推奨充電率を選択できます)	**データの表示** (充電電力、給電電力が表示できます。[年、月、日ごと])
給電開始、停止時刻の設定 (タイマー予約により電気料金が高い昼間に家庭へ給電できます)	**給電時のバッテリー残量率設定★2** (走行に必要な電力を残します)	**いたずら防止のセキュリティ設定**

★1 タイマー開始時刻に手動運転中であれば、手動操作が優先されます。
★2 給電時のバッテリー残量率の初期設定値は30%ですが、下限値10%まで設定できます。

EV充電も快適に

日産リーフへの充電も、スピーディに

200V普通充電と比べて **最大2倍のスピード★1**　フル充電★2まで **最短4時間★1**

インテリジェントな自動充電制御★3 ★4

EVパワー・ステーションは、予め電力会社との契約アンペアを設定することで、家庭で使われている消費電力をリアルタイムにモニターし、日産リーフに充電可能な電力量を自動的に制御します。この機能により契約電力の範囲内での最適な充電が可能です。★5

事前に契約アンペアを設定することで、ブレーカー落ちを回避することができます

200V普通充電の場合

日産リーフを充電している時、多くの電気製品を一度に使うとブレーカーが落ちてしまう場合があります。

EVパワーステーションの場合

契約アンペアを設定しておけば、契約容量を超えない範囲で日産リーフを充電します。

★1 EVパワー・ステーションの倍速充電機能を十分にお使いいただくためには、EVパワー・ステーション用に200V 30Aが必要になります。契約電力の範囲内で家電機器を動作させながら充電するため、使用する家電機器の負荷が大きくなると、充電にまわす電力が減少し、充電時間が延びる場合があります。 コンセントモデルは200V30Aが必須となります。
★2 バッテリー残量警告灯の点灯から満充電まで。
★3 V2H非対応の車両には対応していません。
★4 コンセントモデルは、インテリジェント充電(自動充電制御)機能を搭載しておりません。
★5 日産リーフへの充電中に基準値以上の過電流負荷が投入された場合などにおいて、ごく稀にブレーカーが遮断される場合があります。

日産リーフをバックアップ用電源として活用

=24kWh★1

もしもの時にも、安心・安全

EVパワー・ステーションは、もしもの停電の際に日産リーフの大容量バッテリーに充電した電力をバックアップ電源として使用することができます。
日産リーフのバッテリー容量は24kWh。非常時にもバックアップ電源★2として日産リーフをかしこく活用できます。

※2013年10月現在、日産リーフのみ動作確認ができております。
★1 日産リーフのバッテリー容量は24kWhですが、給電を行なう際は電力の変換ロス等により給電量が減少します。
★2 初期設定はバッテリー残量率30%までの給電となっています。手動による非常時給電設定により、バッテリー残量率10%までの給電が可能です。

EVパワー・ステーションは、3つのモデルをラインアップ　お客様のニーズに合わせてお選びいただけます。

LEAF to Home

高機能モデル 電力消費量の多いご家庭におすすめのモデルです。

［型番：ZHTP1900R］

トランスユニット　本体　中継ボックス　送受信ユニット　室内リモコン

※室内リモコンはイメージです

遠隔操作と運転状態を確認できる室内リモコン標準装備

- ワイヤレスで室内からEVパワー・ステーションの操作や設定が可能です。
- 充電量、給電量、電力使用状況、過去の運転履歴等を表示できます。

軽量コネクタとスリムケーブルで操作性が大幅に向上

- 軽量コネクタにより40%の軽量化を実現。
- 直径19mmのスリムケーブル採用により50%の軽量化を実現。

消費電力の大きな電気製品でも安心トランスユニット標準装備

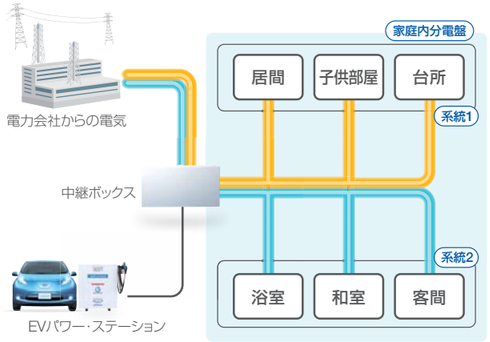
- 片相40A（2相合計60A）まで給電できます。
- 標準品と比べて、電力会社の電気への切換え頻度が減少し、より快適にお使いいただけます。

家庭用燃料電池（エネファーム）等との併設が可能

- エネファーム等との併用により経済効果が向上します。
- 停電時にはEVパワー・ステーションによりエネファーム等を運転できます。

給電のしくみ

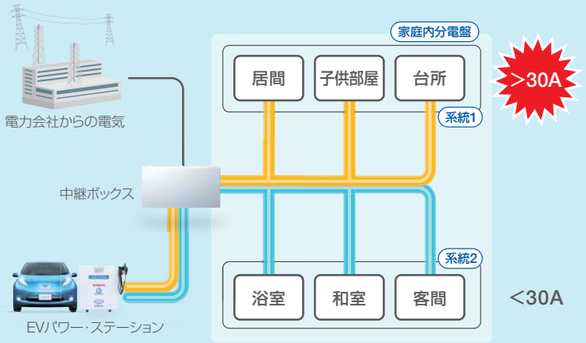
電力会社の電気を使用



1系統（片相）で30Aまで給電できます。（標準モデル）

高機能モデルは1系統（片相）で
40A（2相合計60A）まで給電できます。

EVから給電中



どちらかの系統（片相）の消費電流が30Aを超えると、
電力会社からの電気に自動で切換わります。

消費電力がEVパワー・ステーションの給電能力内に戻った場合は、
約10分後に自動的にEVからの給電に切換わります

その際に、照明のちらつきなどが発生する
場合がありますが、故障や異常ではありません。

LEAF to Home

標準モデル スタンダードな機能に絞ったお求めやすいモデルです。

［型番：ZHTP1580R］

本体　中継ボックス

Vehicle to Socket

コンセントモデル 事務所や施設への設置に適したモデルです。

★1 ★2 ★3 ★4 ★5

［型番：ZHTP1700R］

電気自動車を簡単に非常用電源として活用できます。

システム活用イメージ

- 電気自動車を複数台保有することで、より多くの電力量を供給できます。
- 複数台の電気自動車を同時に接続することはできません。
- 充電器として複数の拠点に設置することで、電気自動車の移動可能範囲が拡大します。

電気自動車を非常用電源として活用*6できます

- 企業のBCP（事業継続計画）対策に適しています。
- 本体装備の防水コンセントから直接電気（AC100V）を供給できます。
- エンジン発電機に比べ動作音も静かで排気ガスが発生せず環境にやさしいシステムです。

電気自動車の充電をより快適スピーディーに行えます

- 200V普通充電設備に比べ最大2倍の速さで充電が可能です。
- タイマー充電も可能ですので夜間電力を活用することでピークシフトに貢献します。

充電設備導入費用を削減できます

- 事務所等に設置する場合、LEAF to Homeシステムに比べ、簡易な工事で設置が可能です。

豊富なオプションにより設置可能性を広げます

- 寒冷地仕様、防錆仕様を選択可能です。
- 7.5mケーブル・静音フードにより設置場所の自由度を拡大します。

★1 コンセントモデルは、分電盤を通じた家庭への給電はできません。 ★2 コンセントモデルはダブル発電対象外です。
★3 コンセントモデルの充電には200V30Aが必須となります。ブレーカー容量をオーバーした場合は、ブレーカーがOFFすることがあります。 ★4 コンセントモデルは、インテリジェント充電（自動充電制御）機能を搭載しておりません。
★5 コンセントの抜き差しを頻繁に行なう機器は接続しないでください。テーブルタップを接続し、コンセント1口当たり15A以上接続しないでください。 ★6 2013年10月現在、日産リーフのみ動作確認ができております。

EVパワー・ステーション 主要機能一覧

●：標準装備　▲：オプション

モデル ＼ 機能	充電機能		給電機能			共通		装備品			設置	
	倍速充電*1	インテリジェント充電（自動充電制御）*2	30A以下×2相	片相40A給電（2相合計60A）	アース付コンセント2口×2相（各相定格15A）	充電・給電タイマー	バッテリー残量率設定*3	室内リモコン	スリムケーブル	静音フード	エネファーム併設	ダブル発電*4
高機能モデル［型番：ZHTP1900R］	●	●	–	●	–	●	●	●	●	●	●	対象
標準モデル［型番：ZHTP1580R］	●	●	●	–	–	●	●	–	–	▲	–	対象
コンセントモデル［型番：ZHTP1700R］	●	–	–	–	●	●	●	–	–	▲	–	対象外

★1：EVパワー・ステーションの倍速充電機能を十分にお使いいただくためには、EVパワー・ステーション用に200V30Aが必要になります。コンセントモデルは200V30Aが必須となります。 ★2：V2H非対応の車両には対応していません。
★3：給電時のバッテリー残量率の初期設定値は30%ですが、下限値10%まで設定できます。 ★4：太陽光発電を設置のお客様の場合、EVパワー・ステーションを設置されますと、ダブル発電となり売電価格が下がりますのでご注意ください。

オプション

EVパワー・ステーションはお客様のさまざまな設置環境に合わせてお使いいただけるよう、各種オプションをご用意しています

7.5mケーブル 55,000円(消費税別)

※7.5mケーブルのご要望は注文時(工場出荷時)のみ承ります。

7.5mケーブルで本体設置場所の自由度が向上します。

防錆仕様 29,800円(消費税別)

塩害地域では、塩害を軽減するよう防錆対策を施した"防錆仕様"をご使用ください。但し、重塩害地域の設置については、保証の対象外となります。

※寒冷地仕様には標準装備しています。
※塩害を軽減する防錆処理を施しておりますが万全ではありません。

防錆処理

寒冷地仕様 49,800円(消費税別)

冬期-10℃を下回る寒冷地域では、低温環境での動作をはじめ、雪の吹き込みや、融雪剤による防錆対策を施した"寒冷地仕様"をご使用ください。

※寒冷地仕様であっても外気温が−30℃を下回る環境では動作を保証できません。
※塩害を軽減する防錆処理を施しておりますが万全ではありません。

防錆処理 雪対策・低温動作 静音フード

静音フード 12,190円(消費税別)

EVパワー・ステーションの本体背面の排気口を静音フードでカバーすることで運転時のファンの動作音を低減(3〜5dB)★1します。

外形寸法・質量:
幅365×高さ481×奥行き63mm 2.2kg
※寒冷地仕様には雪対策として標準装備しています。
※取付けには壁との隙間が15cm以上が必要です。
★1 弊社測定値。実際の効果は設置条件により異なります。

装着前

装着後

EVパワー・ステーション オプション一覧

○:出荷時オプション ●:設置後購入可能

モデル ＼ オプション	7.5mスリムケーブル★2	7.5m標準ケーブル★2	防錆仕様	寒冷地仕様★3	静音フード★4
高機能モデル [型番:ZHTP1900R]	○	ー	○	○	標準装備
標準モデル [型番:ZHTP1580R]	ー	○	○	○	●
コンセントモデル [型番:ZHTP1700R]	ー	○	○	○	●

※オプションについては補助金対象外となります。
★2 7.5mケーブルのご要望については、注文時(工場出荷時)のみ承ります。
★3 寒冷地仕様には防錆処理、雪対策・低温動作、静音フードが標準装備となります。
★4 静音フードはお客様ご自身でお取付けいただけます。

製品仕様

モデル			高機能モデル	標準モデル	コンセントモデル
型番			ZHTP1900R	ZHTP1580R	ZHTP1700R
機能	充電機能	倍速充電★1	○	○	○
		インテリジェント充電(自動充電制御)★2	○	○	ー
	給電機能	30A以下×2相	ー	○	ー
		片相40A給電(2相合計60A)	○	ー	ー
		アース付コンセント2口×2相(各相定格15A)	ー	ー	○
		家庭用燃料電池(エネファーム等)併設★3	○	ー	ー
		ダブル発電 ★4	対象	対象	対象外
	共通	充電・給電タイマー	○	○	○
		満充電設定	○	○	○
		バッテリー残量率設定★5	○	○	○
		データ表示(年間、月間、日ごとの履歴)	○	○	○
		いたずら防止のセキュリティ設定	○	○	○
環境	設置場所		本体:屋外★6/中継ボックス:屋内		本体:屋外★6
	周囲温度		-10℃〜+40℃(寒冷地仕様 -30℃〜+40℃)		
	周囲湿度		30〜90%(結露なきこと)		
	運転音		約45dB★7		
機構	外形寸法・質量(幅×高さ×奥行き)		本体…650(W)×780(H)×350(D)mm (突起部含まず) 約70kg(ケーブル重量含まず)	本体…650(W)×780(H)×350(D)mm (突起部含まず) 約68kg(ケーブル重量含まず)	本体…650(W)×780(H)×350(D)mm (突起部含まず) 約70kg(ケーブル重量含まず)
			中継ボックス…710(W)×370(H)×150(D)mm 約10kg		ー
	表示部		モノクロ 3.4インチ液晶★8		
	ケーブル		約3.7m 約3kg(標準装備)/約7.5m 約5kg(オプション)	約3.7m 約6kg(標準装備)/約7.5m 約9kg(オプション)	
中継ボックス	入力電圧・電流		単相3線式 AC200V、50/60Hz 60A以下		ー
充電部	入力電圧・電流		単相2線式 AC200V、50/60Hz 30A未満		
	出力電力		6kW未満★9		
供給部	出力電圧		単相3線式 単相AC100V×2相、50/60Hz		AC100V、50/60Hz
	出力電流		片相40A給電(2相合計60A)★10	30A以下×2相★10	アース付コンセント 2口×2相(各相定格15A)
静音フード	外形寸法・質量(幅×高さ×奥行き)		365(W)×481(H)×63(D)mm (標準装備)約2.2kg	365(W)×481(H)×63(D)mm (オプション)約2.2kg	
トランスユニット	外形寸法・質量(幅×高さ×奥行き)		本体…290(W)×415(H)×350(D)mm 約55kg	ー	ー
室内リモコン★11	画面サイズ		カラー 7インチ液晶	ー	ー
	通信方式		無線LAN方式	ー	ー
	電源		内蔵バッテリー(充電式)	ー	ー
送受信ユニット	外形寸法(幅×高さ×奥行き)		93(W)×155(H)×50(D)(中継ボックスの横に取付け)	ー	ー

※家庭への給電の際に、大きな負荷(目安2.5kW以上)を同時投入した場合や、6kW近くの負荷を継続的に投入した場合には、自動的に出力を制限する安全制御等が作動します。そのため安全制御が作動すると電圧低下や、極端な場合には保護回路が作動し、出力が停止したりする場合があります。さらに負荷が6kWを超えることが予想される場合には、自動的に電力会社からの電気に切換わります。ご家庭でお使いの電気製品の消費電力量を参考にして、給電時の負荷容量には十分注意してお使いください。
※一般的なご家庭の多くは、100V/2系統配線されています。EVからの給電時に1系統に偏って給電能力以上の電流が流れた場合、電力会社からの電気に切換わる場合があります。
★1 EVパワー・ステーションの倍速充電機能を十分にお使いいただくためには、EVパワー・ステーション用に200V30Aが必要になります。コンセントモデル(型番:ZHTP1700R)は、200V30Aが必須となります。
★2 V2H非対応の車両には対応していません。
★3 設置可能な家庭用燃料電池については、製品に関するお問い合わせ先までご確認をお願いいたします。
★4 太陽光発電を設置のお客様の場合、EVパワー・ステーションを設置されますと、ダブル発電となり売電価格が下がりますのでご注意ください。
★5 給電時のバッテリー残量率の初期設定値は30%ですが、下限値10%まで設定できます。
★6 受信障害となる場合がありますので、ラジオ、テレビ、アマチュア無線等の電波を利用する機器とは3m以上離して設置してください。岩礁隣接地域、重塩害地域では使用できません。温泉等の腐食性ガスのある環境では機器の動作に影響を及ぼす可能性があります。事前にご確認ください。
★7 EVパワー・ステーションから発生する音について
- 動作中は、EVパワー・ステーション内蔵ファンの動作音が発生します。壁との距離等、設置環境により、音の聞こえ方が異なることがあります。
- 充電や給電の切換え時に、内部リレーが切換わる音が発生します。
- 中継ボックスからジーという音が発生する場合がありますが、これは交流電源の脈動による音です。設置稼働直後は音が大きい場合がありますが、使用するに従い小さくなっていきます。
- 本体の内部温度が高くなると、本体の排気ファンが高速になり、作動音が大きくなることがあります。

★8 指定の周囲温度外では表示の応答性やコントラストに支障を及ぼす場合があります。強い紫外線下で長時間使用された場合は、表示部の部材が劣化する可能性があります。また、過度の加重をかけないようご注意ください。
★9 機器の出力値であり、実際の充電出力を保証している数値ではありません。契約電力や家庭への給電状況および車両の充電率によっても異なります。コンセントモデルの場合はインテリジェント充電(自動充電制御)に対応していないため、ご家庭の負荷影響は受けません。
★10 最大電流を片相30A以下(100V)(高機能モデルの場合は片相40A以下(2相合計60A以下))となるように負荷制限制御が作動します。各ご家庭の機器の効率、家庭用配線接続状況によって規定の電力がとれず、実質6kWの出力がとれない場合がありますのでご注意ください。
★11 落下による破損や故障にご注意ください。